



「小さな親切」運動

三重県本部だより

スローガン

「できる親切はみんなでしょう、
それが社会の習慣となるように」

第93号 2025.5

発行：「小さな親切」運動三重県本部
津市丸之内31番21号
株式会社百五銀行総務部内
〒514-8667 電話059-223-2305

「小さな親切」運動三重県本部 実行章伝達式



143



<https://www.kindness.jp/>

検索



SMALL KINDNESS MOVEMENT

第79回「小さな親切」運動 実行章受章者名簿

(2024年6月～2024年11月分)

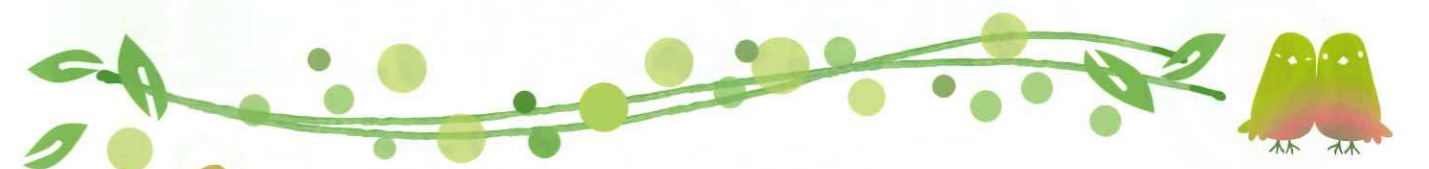
■個人表彰6名

(敬称略・推薦受付順・年齢推薦時)

住所	実行者名	年齢	実行内容
志摩市 大王町	はまぐち みほこ 濱口 美穂子	63歳	清掃活動ボランティア 近所の前浜海岸において週1～2回海岸清掃を行っています。釣りや潮干狩りなど海のレジャースポットでもあり、きれいな海を守る活動をされています。
津市 久居野村町	かたぎり しょうじ 片桐 正二	85歳	教育施設的环境整備と教育活動ボランティア のむら幼稚園と立成小学校で、木の剪定、除草作業、野菜の苗植え、収穫の手伝い、園外保育の付き添い、竹細工や竹太鼓の遊びを教える等、子供たちの教育活動に積極的に関わられています。
津市 阿漕町	わが みえこ 和賀 美枝子	68歳	学校美化ボランティア 育生小学校の花壇にたくさんの花を植えていただいています。1年を通して水やり草引きに気を配り、色とりどりの花を咲かせ学校の美化に努めてくださっています。
津市 垂水	いちかわ りつこ 市川 律子	68歳	児童福祉ボランティア 長きにわたり子育て支援センターでのイベント開催のコーディネーターや児童相談所・学校等からの依頼に基づき保護者との面談等、地域社協活動の増進に貢献されています。
伊賀市 久米町	くらもと たくや 倉本 卓哉	43歳	子ども達の居場所提供 自身が営むたい焼き屋の店舗内を一定のルールを決めて開放し、地域の子ども達に提供されています。小学生、平日、休日問わず子ども達の待ち合わせや交流の居場所となっています。
警備部 機動隊	やの ゆきてる 矢野 志耀	23歳	体調不良の登山者に対する親切な対応 プライベートで入道ヶ岳を登山した際、足を痙攣し歩行できなくなって困っている女性に会い、付き添っていたのですが、2合目付近で再び体調不良を訴え動けなくなったため、回復措置として背負って下山されました。

■団体表彰11団体(343名)

住所	実行団体名	人数	実行内容
熊野市 五郷町	株式会社宇城組	22名	学校環境整備活動 例年、五郷小学校の斜面の草刈りなど、教職員ではできない作業をボランティアで行っています。今年度は五郷小学校が既に廃校となった旧五郷中学校に移転するに際して、荒れていた旧中学校のグラウンド整備や土砂撤去、除草作業などを行い、同校から感謝の言葉をいただきました。
松阪市 上川町	株式会社中建	23名	地域への社会貢献活動 地域の清掃活動やエコキャップ、ベルマーク、アルミ缶を集め、中学校や社会福祉協議会へ寄付されています。また、はたらく車お仕事体験で小学生にショベルカーの作業体験を行うなど地域社会への貢献に尽力されています。
松阪市 美濃田町	株式会社庄栄	3名	地域貢献活動 近隣道路の草刈り、地域住民を招いての餅つき大会、地域祭りへの協賛、近隣小学校へ無償で塗装作業を行うなど、地域に密着した貢献活動に積極的に取り組まれています。
鈴鹿市 磯山	音訳グループ 鈴の音	36名	音訳ボランティア 50年にわたり視覚障がい、その他の障害のため視覚による表現の認識が困難な方へ、市の広報等をCDで配布したり、小説などの録音図書作成や希望者への対面音訳をされています。
桑名市 筒尾	ホテルとなかまの会	76名	自然保護活動 約20年間にわたり大山田川のゲンジボタルの保存活動を実施されています。地域に根差した活動を行うことにより、地域住民の自然保護意識を高めるとともに、子供たちの情操教育に貢献されています。
桑名市 中央町	(お母さんの会) あいうえお	15名	読み聞かせボランティア 桑名市内外の未就学児・小学生に読み聞かせの活動を週に1回以上21年間行っています。また小学生たちが安心して通学出来るように、地域の方と連携し、見守り活動・居場所づくり・フィールドワーク活動に尽力されています。
鈴鹿市 北長太町	杉野工業株式会社	36名	防災への貢献活動 本社工場に8.8mの津波避難ビルを設置。近隣のこども園と防災協定を締結し、年2回の防災訓練を実施されており、園児への防災意識の醸成に寄与されています。また災害時には地域の避難場所として開放されています。
津市 広明町	株式会社若鈴	63名	環境整備ボランティア 環境に関わる事業を行っていることから、近隣地域の環境整備にも精力的に取り組み、約15年前から1か月に一度、地域の清掃活動を継続して実施されています。
津市 長岡町	西が丘 安全安心サポーター	29名	交通安全ボランティア 校区内には信号のない交差点や横断歩道が多く、子供たちの安全を考え、登下校を見守っていただいています。また校区内には3つの高校があり、交通指導も実施しています。
津市 美川町	スマイルカレンダー プロジェクト	30名	花火でエールを送るボランティア 自身の息子を急性リンパ性白血病で亡くした代表者が立ち上げた団体で、三重大学医学部附属病院近くの海岸にて、小児病棟で病と闘う子らに打ち上げ花火でエールを送る「スマイル花火プロジェクト」を行っています。
津市 西丸の内	三重テニス ボランティアサークル	10名	車いすテニス運営ボランティア 35年ほど前から毎年5月3日に、車いすテニス三重県大会を開催しています。ほかにも津市社会福祉協議会より依頼される津市老人運動会の大会運営、車いすテニス東海大会運営等の活動を行っています。

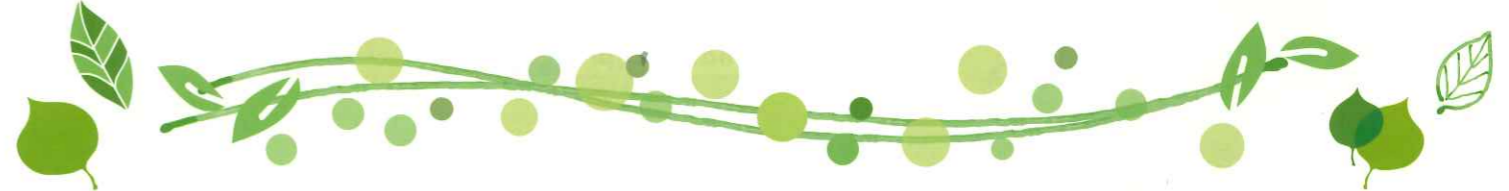


第79回 「小さな親切」運動実行章伝達式の開催

「小さな親切」運動三重県本部では、1月23日(木)に第79回実行章伝達式が百五銀行丸之内本部棟2階大講堂でご来賓の出席のもとおこなわれ、個人6名・団体11団体で合計349名の方々が受章されました。



三重県本部の伊藤代表から、『この実行章は、皆さまお一人お一人が、身近な所で実行された心あたたまる親切に対して、敬意を表して贈呈させていただいております。また、親切な行動をされた皆さまのことを広く世間にお知らせすることが、「小さな親切」運動を社会の隅々にまで広げることにつながると考えております。本日受章された皆さまが、引き続き、心の通う地域社会づくりを目指して、「小さな親切」運動の輪を広げていただくことを期待します。』と挨拶がありました。続いて当三重県本部顧問として三重県知事の代理で三重県子ども・福祉部 副部長の高濱公生様、津市長の代理で津市市民部交流連携担当参事の奥野芳章様より鄭重なるお祝いと励ましのお言葉をいただきました。そして、祝電披露のあと、伊藤代表から受章者一人一人に実行章が手渡されました。



第49回「小さな親切」作文コンクール

第49回「小さな親切」作文コンクールに際しましては県教育委員会および県下各教育事務所から全面的なご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

全国から総数28,138編(小学生5,750編、中学生22,388編)県内からは420編(小学生2校3編、中学生12校417編)の応募がありました。このような多数の応募のなか県内から1名の方が優秀賞を受賞され、また1名の方が入選されました。誠にありがとうございます。

この作文コンクールは毎年実施しますので今年もたくさんのご応募をお待ちしています。

優秀賞

その一言で……

■伊勢市立 修道小学校
〈4年〉世古一夏

「大丈夫?」

「なんでもいたわたしを救ってくれたのは、友達からのこの一言でした。わたしは以前友達に、自分にとっ ていやなことをふざけてされたり、言われたりしたことがありまし た。そして、そのことをずっと一人 で考えていました。友達や先生への 相談もむずかしく、親にも言えま せんでした。」

「なんでもいるうちに、授業で話 すことがこわくなり、友達と話す ことにきんちようするようになって しまいました。学校へ行くことが楽 しくなくなってきた、机の上でぐう たりしていることが多くなりました した。」

「そんなある日、「大丈夫? 最近 一夏ちゃん元気ないよ。」と、後ろか ら女の子たちに声をかけられまし た。言われたときは一しゅん、びっく りしました。今までそんなことを 言われたことがなく、言われると も思っていなかったからです。おどろ

きと同時に、そう言ってもらった わたしの心はすごく救われました。友達のとて温かい思いや りのある言葉によって、だれに も相談できなくてなやんでいた わたしの心が、すごくかるく なったような気がしました。」

「いやなことがあるならいつ でも相談してね。解決するよう に、できるところまで手伝うか らね。」

「ふだんあまり話していない子 たちなのに、気にかけてくれた ことがとてもうれしかったで す。わたしはその子たちの行動 を見て、周りの人たちのことも 気にかけて行動しているなと思 いました。わたしは、その子たち にあこがれました。自分とはち がうな、と思いました。」

「それからは、友達のこの思い やりのある言葉によって、前に ふざけてされたことも気になら なくなっていました。そして、 勇気を出して親に相談すること ができるようになりました。親 も共感して、気持ちをわかって くれて、なやみごとを聞いては げましてくれる、信らいてきる を強く感じた。これまで、周りの 人たちは自分に無関心だと思っ ていたけれど、それは違ったのだと 実感した。外は寒かったけれど、僕 の心はとても温かかった。」

「このできごとを通じて、僕も周 りの人のために何かできる人間に なりたいと思った。これまでの僕は、 自分のことばかり考えていたけれ ども、相手のことを考えて行動す ることが大切だと気づいた。」

「これからは相手の気持ちを考 えて、人がどんな行動をしている のかを見てみようと思う。何を考 えて誰のために動くのかを。きっ と、その行いは、さまざまな人を 幸せな気持ちにしてくれるのだ ろう。人の行動の中には、気づか ないだけで自分のためになってく れることがあるのかもしれない。」

「これから、辛いことや苦しいこ とをたくさん乗り越えなければ いけないときが来ると思う。その ときは、このことを思い出して、物 事を前向きにとらえて生きてい きたい。」

入選
冬に届いた人の温もり
■津市立 朝陽中学校
〈3年〉今西源哉

学校帰り。いつも通り僕は、自 転車の後ろにカバンを紐でくくり つけて帰る。日はかなり沈んでい て、風の強い冬の日だった。毎日通 る道のは、うんざりするほど長 い。風が顔に吹きつけて冷たさが 全身に染み込み、耳元では風の音 がゴゴゴと鳴っていた。こんな寒 い日の下校は、身体が凍る。僕は 乾燥した指で、必死にハンドルを 握って自転車をこいだ。

家まであともう少しのところ で、うしろから「カバン落としとる よ。」という声が聞こえた。驚いて 振り返ってみると、1台の車が僕 の横を走った。車をよくみている と、女性が運転席の窓から地面 にあるカバンを指差していた。ど うやら、僕のカバンが自転車から 落ちていたことを教えてくれたの だ。

自転車を急いで止め、後ろをみ るとたしかに僕のカバンがそこに

あった。寒さと風の音に気を取られ ていたのか、カバンが落ちたことに まったく気づかなかった。僕にとっ て、カバンを落とすことはよくあ ることで、そこまで、驚くほどのこ とではなかった。でも、それを親切 心で伝えてもらったことは一度も なかった。そのせいか、僕は慣れな い親切に驚きを隠せず、その場で 少し固まっていた。

車の女性は、僕がカバンを落と したことに気づいた様子を確認 すると、何事もなかったかのよう にその場を去っていった。僕は慌て て少しおじぎをしたが、十分にそ の場でお礼を言えなかったことを 後悔した。声をかけてくれたこと への感謝の気持ちを、うまく伝え ることができなかったのは、寒さ で心が急いでいたからなのかもしれ ない。

家に向かう道中、あの女性が 声をかけてくれたことが、どれほ どありがたかったかを考えていた。 ちよつとしたかわりの中でも、こ んな風に親切にしてくれる人がい ることに気づかされ、人の誠実さ

第40回「小さな親切」はがきキャンペーン

今年、40回目を迎えた「小さな親切」はがきキャンペーン(こころのエッセイコンテスト)

には、1,955編(三重県内応募数5編)の応募がありました。

作文コンクールとの差別化を図るため、はがきキャンペーンの応募対象を

今年度から高校生以上としたところ、嬉しいことに高校生や

大学生など若い世代からの応募が増加しました。

残念ながら三重県からの入賞は今回ありませんでした。

車椅子贈呈運動

車椅子5台
福祉施設に贈呈

身体の不自由な方やお年寄りが積極的に社会に参加できることを願い、平成11年より社会福祉施設に車椅子を贈る運動を続けています。令和6年度は三重県本部から5台を県内の5施設に贈りました。これまでに贈呈してきた車椅子の累計は261台となりました。

令和6年度 車椅子贈呈先一覧

No.	施設名	所在地	No.	施設名	所在地
1	翠明院	いなべ市藤原町	4	はなの里	名張市西田原
2	鳥羽陽光苑	鳥羽市岩倉町	5	みやま園	北牟婁郡紀北町
3	ビビアン	志摩市大王町			



翠明院



鳥羽陽光苑



ビビアン



はなの里



みやま園

三重県本部に提供いただいた施設の写真を掲載させていただきました。

募集
します!

第50回 「小さな親切」作文コンクール

テーマ: 「小さな親切」

対象: 小学生・中学生 (小中学生と同年齢のものを含む)

応募字数: 400字詰め原稿用紙3枚 (1200字) 以内 ※題名、氏名等は含まず

応募方法: 作文の冒頭に題名、学校名、学年、氏名とフリガナを明記してください。

(1) 学校・地域組織 (道府県本部・市町村支部) でまとめて応募する場合

「応募送付書」に必要事項を明記してお送りください。

(2) 個人で応募する場合

学校住所、自宅住所も明記してください。

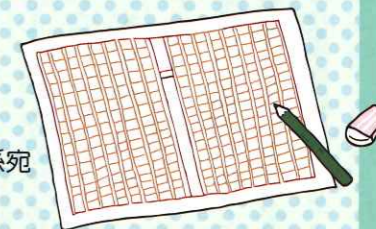
締め切り: 令和7年9月22日 (月) 必着

送り先: 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4

公益社団法人「小さな親切」運動本部 作文コンクール係宛

応募要項の詳細は、ホームページをご覧ください。

<https://www.kindness.jp/> [クリック](#)



募集
します!

第41回

「小さな親切」はがきキャンペーン

こころのエッセイコンテスト

テーマ: あのときはありがとう ~心から伝えたい~

対象: 高校生以上 (高校生と同じ年齢のもの含む)

応募方法: テーマにそった体験とタイトル、住所・氏名 (ふりがな)・年齢・職業または学校名・電話番号を明記の上、下記方法でご応募ください。

はがきから

文字数は、はがき1枚に収まる程度、手書きでなくても可。

郵送で応募。テーマ氏名等は文字数に含みません。

メールまたはフォームから

専用メールアドレスまたは、「小さな親切」運動本部WEBサイト内応募フォームから応募。

文字数は600字以内 (はがき1枚担当)。

送り先: 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4

公益社団法人「小さな親切」運動本部 はがきキャンペーン係宛

メールアドレス hagaki-oubo@kindness.jp [WEBサイト](#) <https://www.kindness.jp/>

締め切り: 令和7年9月3日 (水) 必着



あいさつ運動

あいさつで、みんなつながる トモダチ作戦



コミュニケーションの基本となる、学校や地域での朝夕のあいさつ。

「小さな親切」運動では、あいさつを習慣とするためのサポート活動を展開しており、三重県本部では県内の小中学校124校に“のぼり”や“たすき”などのオリジナルグッズを提供して、地域のみなさまと共に活動を応援しています。



のぼり

あいさつ運動 オリジナル活動グッズ

無料
提供中!

すでに三重県内の小・中学校124校で使用。
1セット:のぼり1枚・たすき5本・ポスター2枚を
無料で提供します。
お申込み・お問い合わせは、三重県本部まで。



たすき (前) たすき (後)



事務局だより

☆身のまわりの「親切さん」を
ご紹介ください!! ☆

皆さんが受けた・見た親切、心あ
たたまる親切をぜひご推薦ください。
親切な行いをされた方には、感謝の
気持ちと敬意を表し「小さな親切」
実行章が贈られます。

■種別

- (1) 個人表彰 個人の親切な行為に
対して贈られるもの
- (2) 団体表彰 団体の親切な行為に
対して贈られるもの

■推薦方法

推薦用紙に、親切をした人の氏
名・住所・学校名・親切の内容等
を書いて、三重県本部まで送り
ください。推薦用紙は、三重県本
部へご請求ください。

■親切の具体例

- (1) 長年にわたる清掃奉仕
- (2) 花植えなどの環境美化
- (3) お年寄りや障害をもつ人との交
流や施設訪問、日常の世話
- (4) けが人の救助や困っている人に
親身な対応
- (5) 地理不案内の人へ親身な道案内
- (6) アルミ缶回収金で車椅子寄付

※お問い合わせ先

「小さな親切」運動三重県本部

TEL〇五九一三三二一三〇五